

第3回 北海道クラブバレーボール連盟 北海道デサント杯争奪選手権大会

開催日：2019年10月26日(土)～27日(日)
会場：深川市総合体育館

大会委員長 沓 沢 幸 一
競技委員長 瀬 古 篤 志
審判委員長 小 瀧 健 二
総務委員長 石 井 吉 重

● 6人制女子予選グループ戦 (10月26日)

[Aグループ]

1	旭青会 (道北)
2	岩見沢優光クラブ (道央)
3	UNITY (道央)

2	17 - 25
1	25 - 21
4	15 - 6

[Bグループ]

4	pallavolo (道央)
5	DEVILKIN (道央)
6	COLORBALL (道東)

2	25 - 10
0	25 - 18

[Cグループ]

7	北海道V-spirit (道央)
8	北商OG (道東・未)
9	B U Z Z (道央)

2	25 - 14
0	25 - 14
5	

[Dグループ]

10	アイ・ディー・エフfemme (道央)
11	g . a . p (道央・未)
12	R o u g h (道央)

2	25 - 12
0	25 - 16
6	

● 6人制男子予選グループ戦 (10月26日)

[Eグループ]

1	沼田クラブ (道北・未)
2	BLUESTAGE (道央)
3	Snooker (道央)
4	Club Safilva (道央)

2	25 - 17
0	25 - 18
5	
2	25 - 19
0	28 - 26

[Fグループ]

5	S - P r o u d (道央)
6	T V C (道央)
7	帯広クオーレ (道東)
8	札幌国志会倶楽部 (道央)

2	10 - 25
1	25 - 23
1	15 - 12
5	
2	25 - 13
0	25 - 16

[Gグループ]

9	RUBIK'S CUBE (道東)
10	S I G N A L (道央)
11	S I L V E R (道央)

2	25 - 21
0	25 - 22
4	
2	25 - 22
0	25 - 21

[Hグループ]

12	大洋部品 (道東)
13	北海道クラブ (道央)
14	R I S E (道央)

2	25 - 20
0	25 - 17
4	

[Iグループ]

15	R A V E (道央)
16	S W A T T (道央)
17	旭青会 (道北)

2	25 - 20
0	25 - 14
2	
2	25 - 20
0	25 - 14

1 シードチームは以下の通りとします。シードチームは予選グループ戦で1敗した時点で決勝Tのシード権を喪失します。
 【6人制男子】
 第1シード：大洋部品
 第2シード：TVC、RAVE
 【6人制女子】
 第1シード：アイ・ディー・エフfemme
 第2シード pallavolo、北海道V-spirit

2 第2シードの両チームともにシード権を維持して決勝T進出した場合はくじ引きで第2シードと第3シードを決定します。

3 予選3チームグループはグループ内初戦の敗退チームともう一チームが対戦します。
 2敗のチームができた時点で以降の試合は行いません。

4 3位はコート表彰となります。各種目の決勝進出チームの表彰は閉会式にて行います。

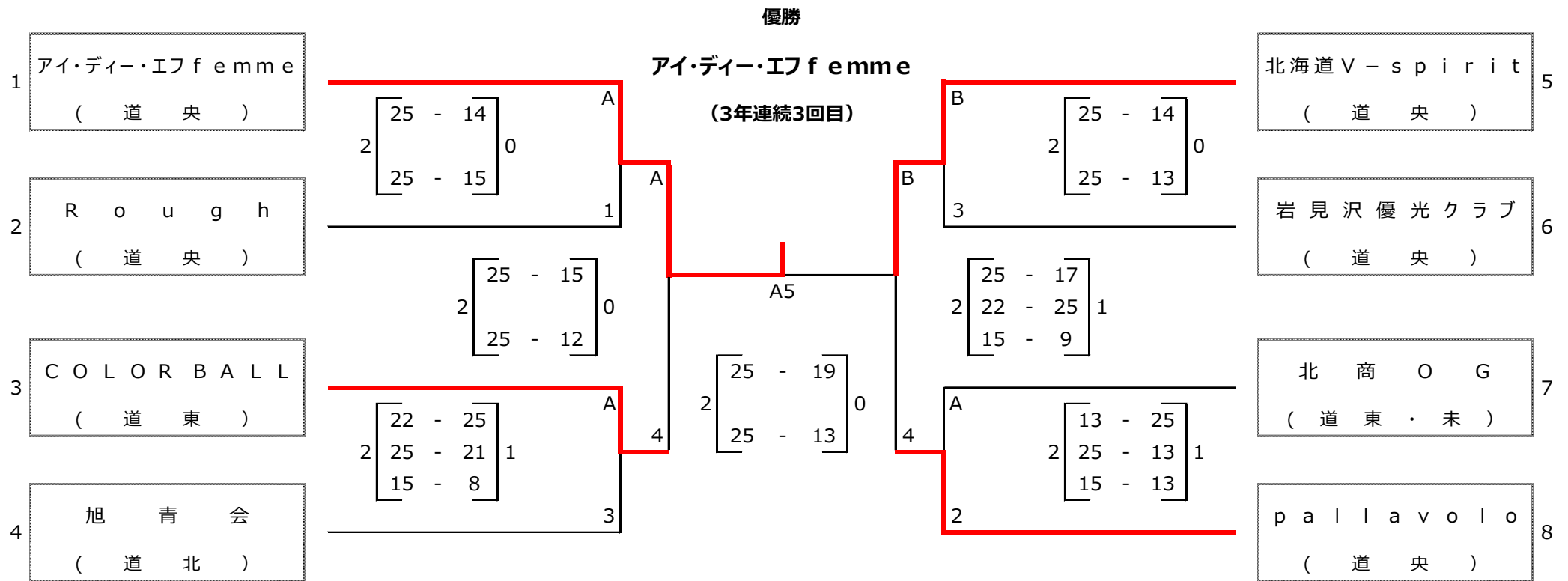
5 1日目、各コート6試合目以降は試合の進行状況によりコートを変更して行う可能性があります。

第3回 北海道クラブバレーボール連盟 北海道デサント杯争奪選手権大会

開催日：2019年10月26日(土)～27日(日)
会場：深川市総合体育館

大会委員長 沓 沢 幸一
競技委員長 瀬 古 篤志
審判委員長 小 瀧 健二
総務委員長 石 井 吉 重

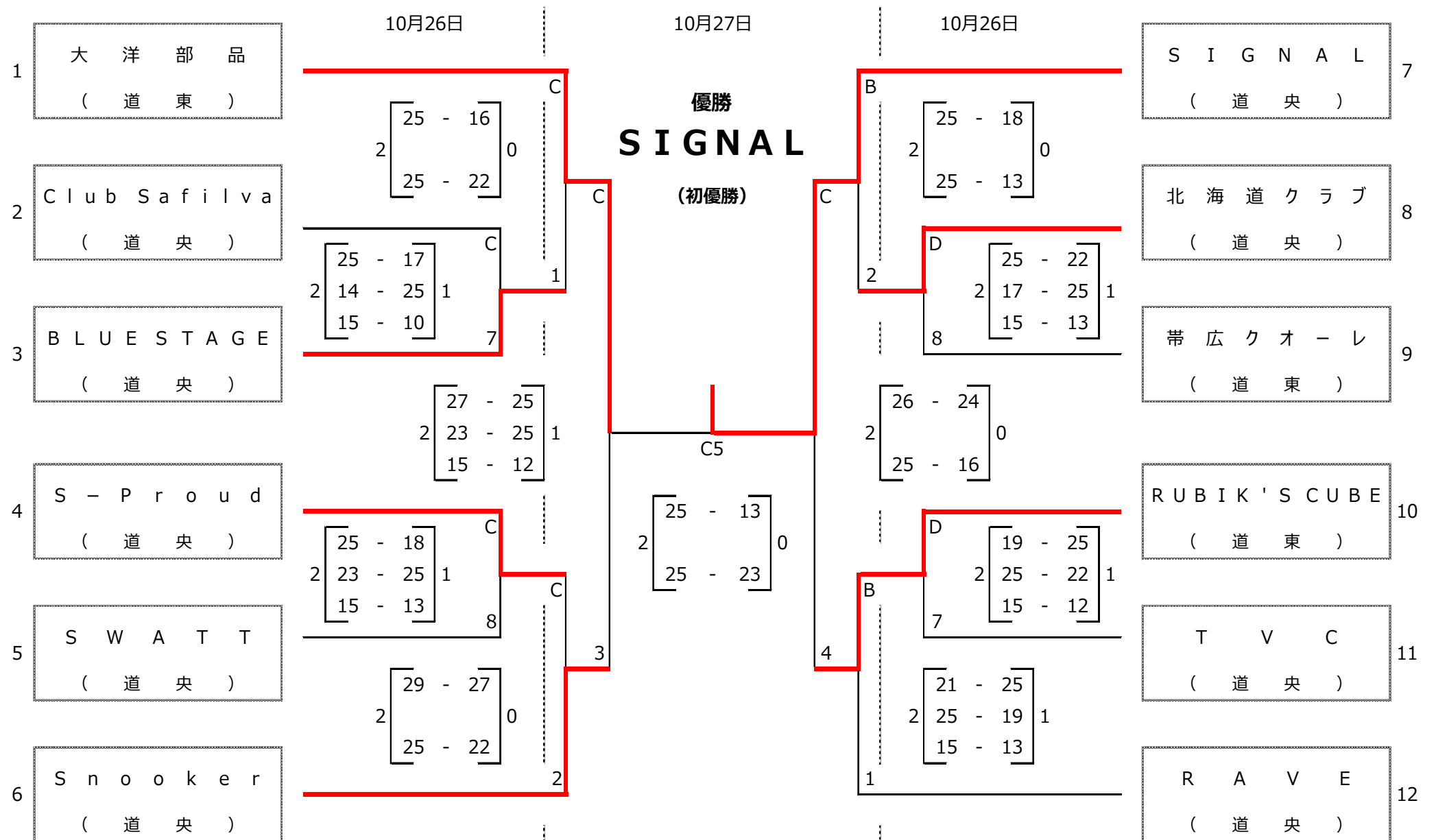
● 6人制女子決勝トーナメント(10月26、27日)



(戦評)
第1セットは中盤まで互いに譲らずシーソーゲームとなったがローテーション3周目あたりからアイディー・エフfemmeが優位に立つ。対する北海道V-spiritも必死に応戦するが、終盤粘る北海道V-spiritを一気に引き離れたアイディー・エフfemmeが第1セットを先取る。2セット目は序盤からアイディー・エフfemmeが第1セットの勢いそのままにリードをひろげる。何とか主導権を奪り返し追いつきたい北海道V-spiritだが、アイディー・エフfemmeの攻守共に安定したバレーの前に力尽きる。勝利したアイディー・エフfemmeは、大会通して終始他のチームを圧倒し3年連続3回目の優勝を成し遂げた。

優勝：アイディーエフ femme (札幌市) 準優勝：北海道V-spirit (札幌市) 第3位：COLOR BALL (帯広市)、pallavolo (札幌市)

● 6人制男子決勝トーナメント(10月26、27日)



(戦評)
序盤からSIGNALが効果的なサービスから主導権を握る。また固い守備から繰り出される攻撃は多彩であり、高さでは勝る大洋部品のブロック陣を翻弄した。中盤以降もSIGNALの勢いは止まらずこのまま第1セットを先取る。第2セットに入ってからようやく大洋部品も持ち前の高さを活かしたバレーを展開し、互いに譲らずシーソーゲームとなる。中盤から終盤にかけてSIGNALが優位になりかけるも、大洋部品も必死に応戦しそれを許さない。両チーム20点以降となった終盤にSIGNALが大洋部品の攻撃を連続して好守で切り返し、粘る大洋部品を振り払いこのセットも連取して勝利し初優勝を飾った。

優勝：SIGNAL (札幌市) 準優勝：大洋部品 (北見市) 第3位：Snooker (札幌市)、RUBIK'S CUBE (帯広市)

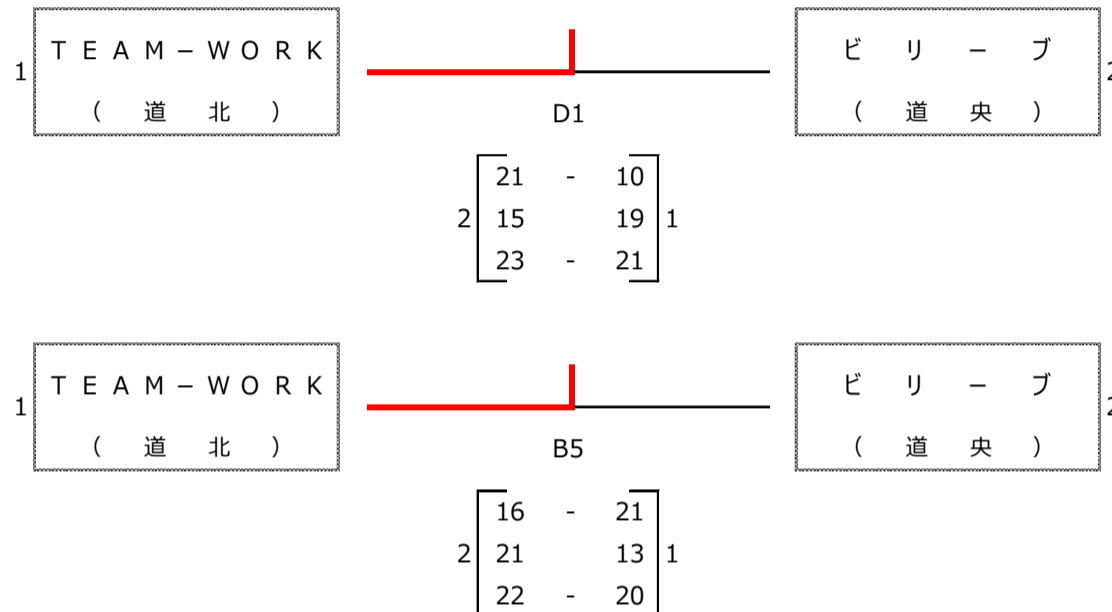
第3回 北海道クラブバレーボール連盟 北海道デザート杯争奪選手権大会

開催日：2019年10月26日（土）～27日（日）
会場：深川市総合体育館

大会委員長 沓瀨 幸一
競技委員長 古瀧 篤志
審判委員長 小瀧 健吉
総務委員 長 井 二重

●9人制女子（10月27日）

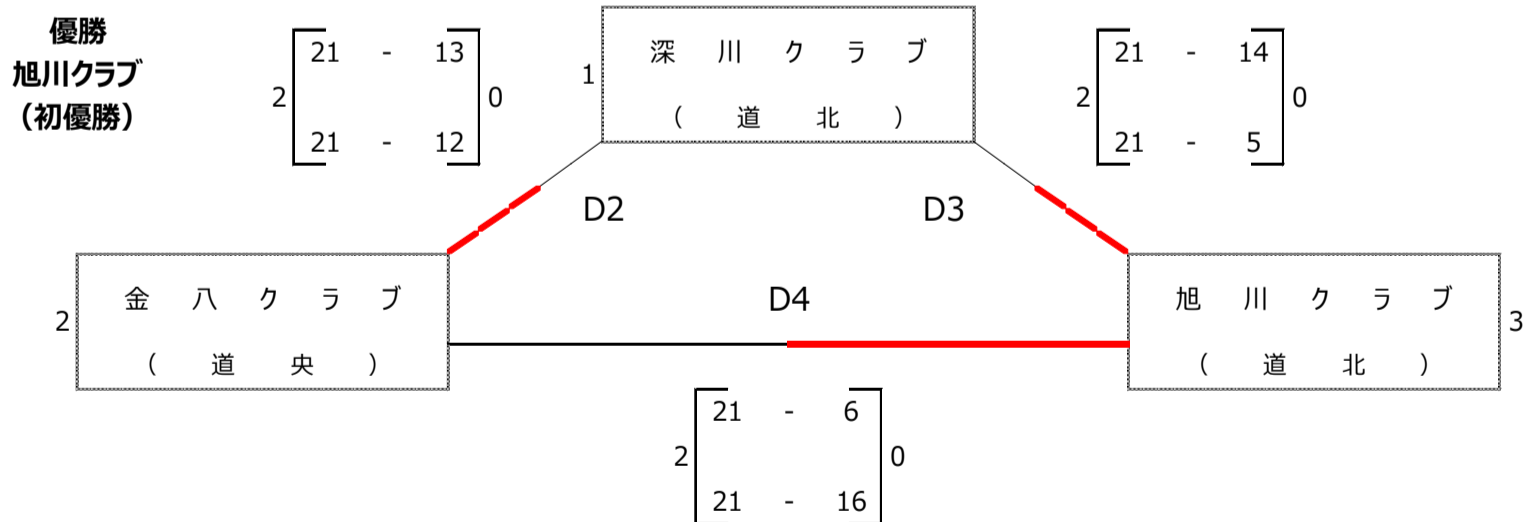
優勝 TEAM-WORK (初優勝)



(戦評)
2チームによる2回戦となった9人制女子の部だが両試合共にフルセットで最終セットはデュースとなる互いの意地のぶつかり合いとなった。TEAM-WORKは終始粘りのあるレシーブと各選手の効果的なサービスで、BIRIBUは高さや攻撃力を武器に戦っていたが最後はTEAM-WORKの粘り勝ちで2試合とも勝利したTEAM-WORKが初優勝を飾る。

優勝：TEAM-WORK（深川市） 準優勝：BIRIBU（札幌市）

●9人制男子（10月27日）



(戦評)
3チームによる巴戦となった9人制男子の部だが、旭川クラブが全勝で優勝。安定したレシーブから繰り出される多彩な高さを活かした攻撃力で他のチームを圧倒した。金八クラブ・深川クラブ共に必死に粘り応戦するが旭川クラブの壁は高く牙城を崩すには至らなかった。他の追従を許さなかった旭川クラブが初優勝を飾った。

優勝：旭川クラブ（旭川市） 準優勝：金八クラブ（札幌市） 第3位：深川クラブ（深川市）